

サブサハラ・アフリカにおける 産業発展の可能性

平成28年10月28日

園部哲史

1

本日のセミナーの内容

1. アフリカ経済の概況
2. 産業発展(農業発展や観光も含む)を促進するには
3. アフリカにおける国際開発協力
4. 質疑応答

0. セミナーの目的

2

1. 概況

1.1. 資源依存度別の実質GDP成長率(年率%)

期間	1986— 1995	1996— 2005	2006— 2010	2011— 2015
サブサハラアフリカ48か国	1.3	4.6	5.6	4.1
ナイジェリア 連邦共和国	1.0	7.2	7.2	4.7
他の高依存型 10か国	-0.8	4.9	7.8	4.5
南アフリカ 共和国	1.3	3.3	3.1	2.1
他の低依存型 36か国	2.8	4.2	5.7	4.9

1. アフリカ経済概況

3

1.2. 好調の原因

- これは研究に基づいていない私見だが、大まかに4つの原因あるのでは。

1. 冷戦の終結、国家建設、民主化
2. 構造調整政策の短期・中期的な失敗と長期的な成功
3. モバイル普及とインフラ建設
4. 地域経済統合

1. アフリカ経済概況

4

1.2(1) 国家建設

- 国の発展を目標としない政治指導者
- 冷戦: 甘やかしの構造、酷い政権
- 冷戦後: 直後は混乱、しかし徐々に民主化(選挙、複数政党制)
 - 選挙をすればするほど溝が深まる?
 - ますます難しくなる傾向
 - 失敗から学ぶ傾向
- いまだに権威主義的政権はあるが、冷戦下にくらべればはるかにまし

1. アフリカ経済概況

5

1.2(2) 構造調整政策の失敗と成功

- 政府の失敗を正す: 経済統制や規制の撤廃・緩和、国有企業・公企業の解体・民営化を強行
- 政府(の失敗) vs 市場(の失敗) ではない
(政府と、市場と、共同体)
- 時間はかかったが、市場のゆがみは減ったのでは。

1. アフリカ経済概況

6

1.2(3) 携帯電話の普及、インフラ建設

- 経済成長の両輪
- 商業の拡大(分業の深化・拡大) Smithian growth
- 生産性の向上(製品・製法イノベーション)
Schumpeterian growth
- 携帯の普及によって、市場情報とりわけ価格の情報が速やかに伝わるようになった
- さらにM-pesaの類の普及によって、少額の送金決済が便利になった
- 交通インフラ建設が進展。中国の貢献大

1. アフリカ経済概況

7

1.2(4) 地域経済統合

- 国ごとの市場が小さい
- 地域的に統合した市場があるほうが、便利
- 東アフリカ共同体(5か国)
- 南部アフリカ開発共同体(15か国)
- 西アフリカ諸国経済共同体(15か国)
- etc.
- 貿易自由化・輸送インフラ開発の加速・貿易金融の充実

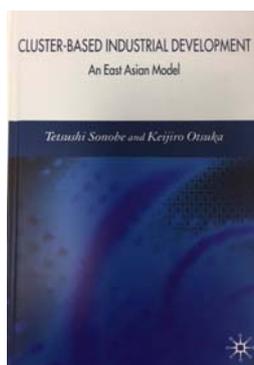
1. アフリカ経済概況

8

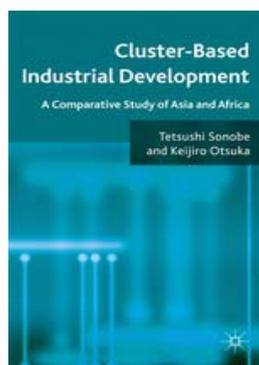
2 産業発展の促進

2.1 途上国の産業発展の研究

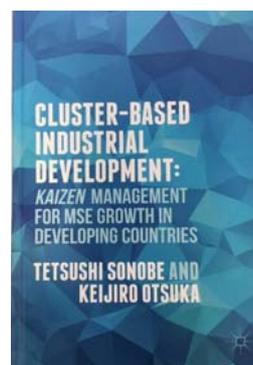
Cluster-based Industrial Development



An East Asian Model



Comparative Study of
Asia and Africa



Kaizen Management
for MSE Growth

2.2 産業発展の秘訣

- 平和と秩序、教育、インフラ、安定したマクロ経済が、経済成長あるいは産業発展にとっても大切であることはよく知られている
- それほど知られていないのは
 1. 集積の経済
 - 産業発展はたいていCluster-based。
 - アフリカにも産業集積はいくつもある。
 2. 比較優位
 - 低賃金国は労働集約型産業に比較優位を持つはずだが、そうっていない
 3. Learning from abroad
 - 途上国の産業が生産性を高めるには、模倣をするべきだが模倣力が弱い

2.3 他人と一緒に働くことの難しさ

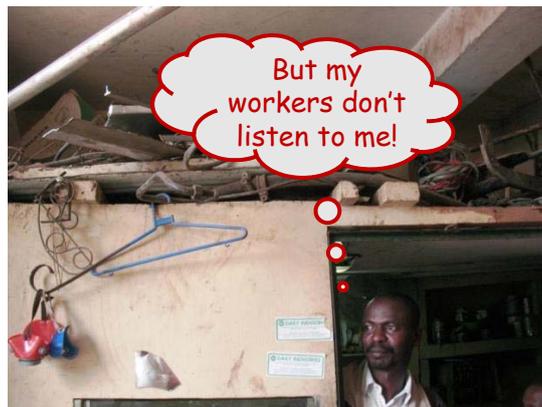


- 日本では、他の人と一緒に働く際のエチケットや力を合わせるコツは当たり前のことになっている
- しかし、日本が産業発展を本格化させる前はそうではなかった
- 当時の日本のように、今日の途上国でも、農村から都会に出てきたばかりの労働者は、「使いづらい」
- 有用な人は希少。
- ごく普通の労働者がきびきびと働くようにするのは、簡単ではない。

2. 産業発展の促進

(continued)

- ナイロビで金属製品(家畜の飼料のミキサーなど)を作る小企業(従業員10名程度)の経営者
- 「自分はずっと品質の高い製品を作ることができる。しかし、そのために必要な品質の高い高価な資材を購入しても、粗雑な従業員たちにいい加減に扱われて台無しになる。だから質の低い製品の製造に甘んじている」
- なぜ従業員に教えない？



2. 産業発展の促進

12

Coordination failure in skill formation

ケースA)		部下	
		スキルの習得に励む	頑張らない
上司	スキルの伝授に励む	高い , 高い	非常に低い, 低い
	頑張らない	低い, 非常に低い	低い, 低い

ケースB)		同僚	
		スキルの習得に励む	頑張らない
自分	スキルの習得に励む	高い , 高い	非常に低い, 低い
	頑張らない	低い, 非常に低い	低い, 低い

2. 産業発展の促進

13

“You know, this is the African time, ha, ha, ha!”

		他の出席者	
		予定通りに来場	1時間遅れ
自分	予定通りに来場	800 , 800 (=1000 - 200), (=1000 - 200)	300 , 500 (= 500 - 200), (= 500 - 0)
	1時間遅れ	500 , 300 (=500 - 0), (= 500 - 200)	500 , 500 (= 500 - 0) , (= 500 - 0)

2. 産業発展の促進

14

朝礼???



- コミュニケーションがないということは、リーダーシップもまったくない
- もちろん、すぐれたリーダーが、そこら中にいるわけではない
- この写真は例外！

2. 産業発展の促進

2.4 日本のアプローチ



1. 整理 sort
2. 整頓 set in order
3. 清掃 shining
4. 清潔 systematize
5. しつけ self discipline

2. 産業発展の促進

16

2.5 実験

- 経営についても、技術についても、ごく当たり前のことを知らない
- コミュニケーション、リーダーシップ、腹を割って話す、といったことが苦手
- といった非常にベーシックなところで躓いているのではないか。
- Kumasi, Ghana, 2007 (RCT)
- Nairobi, Kenya, 2008
- Addis Ababa, Ethiopia, 2008
- DAR, Tanzania, 2010 (RCT)
- Hanoi, Vietnam, 2010 (RCT)
- Addis Ababa, Ethiopia, 2010 (RCT)



2. 産業発展の促進

17



2.6. タンザニアでの経営研修実験

	研修1型の伸び - 対照群の伸び	研修2型の伸び - 対照群の伸び	研修3型の伸び - 対照群の伸び
2011年	5,882	12,379	6,313
2012年	17,257	12,858	12,549
2013年	18,930	13,398	14,129

- 研修1型は座学＋実地、研修2型は座学のみ、研修3型は実地のみを受けた。
- 座学のほうは、招待されたが参加しなかった企業がごく少数いた
- 当該年度の年間の付加価値 - 基準年(2008年と09年の平均)の年間の付加価値を、対照群と比べた値(購買力平価換算のドル建て)
- 基準年の平均の付加価値は約18,500ドル
- 対照群の付加価値は2012年に大幅に減少し、2013年にさらに減少した

2. 産業発展の促進

19

2.7. 中央官庁のオフィスでもコミュニケーション・ブレークダウン

	課長	課員
課のミッションをはっきり述べられた(Yes=1, no = 0)	0.52	0.26
課のターゲットをはっきり述べられた(Yes=1, no = 0)	0.41	0.23
課内のミーティング回数(一か月あたり)	5.65	2.75
サンプル数	46	125

2. 産業発展の促進

20

2.8. 貧困の罫の(意外な)理由

- 経営者として当たり前の知識が不足している。
- 社会人として当たり前のことができていない。
- 組織として仕事をするうえで絶対に必要なコミュニケーション、リーダーシップが乏しく、それを補う術も知らないの
- 至るところでコーディネーションの失敗が起こっており、
- 生産性が低く、
- 生産性を高める意欲が個々人にはあっても、組織としては存在しない。
- これを改めない限り、労働集約的な産業は発展しない
- 発展するとすれば、バックオフィス業務委託のような頭の良い子たちだけでできる業種

3. 産業発展の促進

21

3. アフリカにおける国際開発協力

- 日本とドイツを例外として、産業発展に対して支援をしない傾向
- (新しいドナーである韓国は積極的、中国も別の意味で積極的)
- 理由は、人材育成の大切さはわかっている、どうすれば人材を育成できるかわからなかった。人材育成をすつとばして産業発展支援をしようとして、大失敗した
- 日本のアジアにおける産業発展支援の成功
 - 5S、カイゼン
 - 人材育成、インフラ投資、金融支援、直接投資
- これをアフリカでもやればよい

3. 国際開発協力

22 了